



おすしのきゅうりまきをどうしてかっぱといい、まぐろを鉄火^{てっか}というの

かっぱは想像^{そうぞうじょう}上の動物^{どうぶつ}のかっぱから

かっぱというのは、池^{いけ}や川^{かわ}にすむといわれる人間^{にんげん}の想像^{そうぞうじょう}上の動物^{どうぶつ}です。このかっぱは、きゅうり^{だいす}が大好きということから、きゅうりをのり^{のり}でまいたのりまきが、かっぱといわれるようになったようです。

まぐろを鉄火場^{てっかば}でぶつ切り^ぎにして出した

一方、ばくち^{いっぼう}など悪い^{わる}ことをして、身^みをもちくずしてしまったやくざのことを、鉄火打^{てっかう}ちといいました。まぐろをぶつ切り^ぎにしてのり^{のり}でまき、鉄火場^{てっかば}で出したところから、しゃれことばとして、まぐろのぶつ切り^ぎを鉄火まき^{てっか}というようになったようです。もともとは、ちょうり^{ちょうり}とぜんぜん^{ぜんぜん}かんけい^{かんけい}のない鉄火^{てっか}ということばを、おすしの名前^{なまえ}にしてしまったところに、おもしろさ^{かん}が感じられるのです。(監修・保岡 孝之)

